

はじめに

現在、我が国では、少子高齢化と人口減少が同時に進行する中で、本格的な超高齢社会を迎えており、さらに「団塊の世代」の方々が新たに高齢者世代に加わることにより、社会における高齢者世代の果たすべき役割が拡大するとともに、高齢者の生活様式や考え方、価値観等はさらに多様化することが見込まれます。

このような状況の下で、地域社会を維持し、活力あるものとするためには、元気な高齢者が、「共生・協働の地域社会づくり」の主要な担い手として、その豊富な知識や経験・技能を生かしながら社会参加し、活躍していただくことが求められますが、地域活動に意欲を持つ高齢者にとって、情報やきっかけが少ないために、活動する場を得にくい状況にあります。

このため、県では、平成20年度から「元気高齢者チャレンジ推進事業」を実施し、地域社会の担い手として期待される高齢者の積極的な社会参加と生きがいのある生活を促進するため、高齢者を中心とした地域貢献活動団体の取組の支援等を行っています。

この事業の一環として、県が「高齢者を中心とした地域貢献活動団体」を募集し、県内の各地域振興局・両支庁から選ばれた7つの団体の表彰式・事例発表会を、県と県社会福祉協議会との共催で、昨年10月31日に、かごしま県民交流センターで開催しました。

事例発表会では、地域おこしや様々なボランティア活動で地域社会に多大な貢献をされている7つの団体が活動状況を発表されるとともに、始良市の北山校区地域コミュニティ協議会会長の肥後利治氏の「高齢者の知恵・後継者の発想で地域づくり」と題した基調講演があり、参加者から「自分の地域でも参考にしたい。」「自分も何か活動を始めたい。」等の感想をいただきました。

このたび、今回表彰された7団体の活動状況と基調講演の内容を取りまとめましたので、皆様の今後の活動に参考としていただければ幸いです。

最後に、当事業にご応募いただきました各団体の皆様をはじめ、表彰式・事例発表会の開催にあたりご協力を賜りました関係機関・団体の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成26年2月

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会